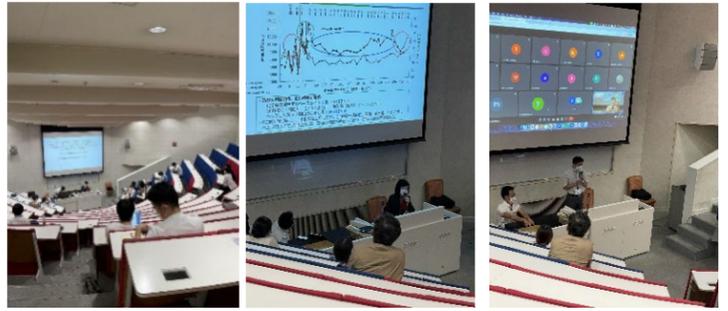


2023年度第1回 統括薬剤部・病院薬剤学講座セミナー 開催

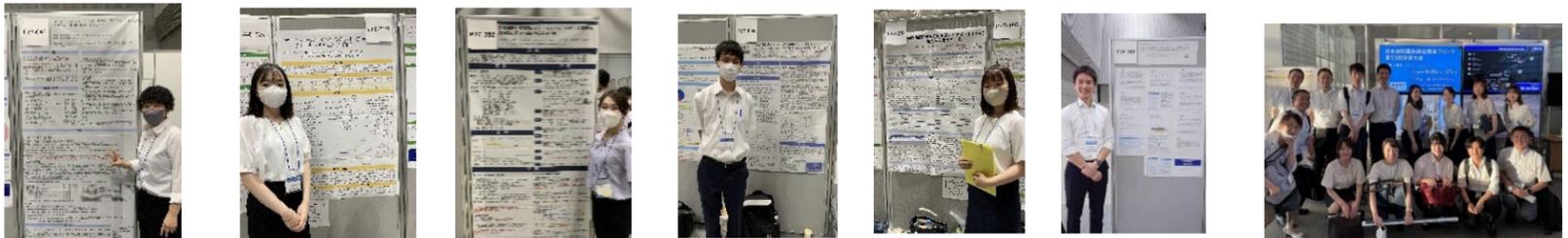
2023年度 第1回統括薬剤部・病院薬剤学講座セミナー	
日時：2023年9月30日(土) 10:00～12:00 会場：昭和大学病院 臨床講堂(入館B1F)& webハイブリッド	
10:00-10:05	開会挨拶 田中 克巳 先生 (統括薬剤部長・病院薬剤学講座 教授)
10:05-10:25	「2回目のCOVID-19ワクチン接種により静脈血栓症を生じた一例」 永尾 美智理(昭和大学藤が丘病院)
10:25-10:45	「COVID-19感染患者のニルマレルビル・リナビル内服による タクロリムスの血中濃度上昇」 平出 美紀(昭和大学病院)
10:45-11:05	「特効薬処方への再評価により減薬に寄与した一例」 館野 円花(昭和大学病院)
休憩(10分)	
11:15-11:35	「ビノレルピンを側管投与することで血管炎・血管痛を予防した一例」 石井 俊一(昭和大学横浜市北部病院)
11:35-11:55	「ペムブロシズマブによる血小板増多～がん患者の血小板数の変動への 考察～」 渡邊 亜矢子(昭和大学江東豊洲病院)
11:55-12:00	閉会挨拶 樋田 修一 先生(病院薬剤学講座 准教授)
Web会場 (Google meet) 昭和大学アカウンに参加してください https://meet.google.com/vhf-tojv-kgj	運営担当 病院薬剤学講座 永井、市音、島本、星

統括薬剤部・病院薬剤学講座セミナーは、病院薬剤学講座発足時から継続しているセミナーです。その目的は、統括薬剤部員で新たな知見の発見や研究テーマの創設をはかって臨床業務を発展させ、研究を促進すること、また、学会等の発表に向けてプレゼンテーション能力の向上を目指すことです。本年度第1回目として2023年9月に昭和大学病院臨床講堂とwebのハイブリッド開催としました。5つの症例報告において、いずれも活発な議論が繰り広げられました。今後もセミナーを継続し、ひとりでも多くの患者さんの薬物治療が適切に行われるようにチーム医療の一員としての研鑽を続けていきます。



臨床研修薬剤師6名が学会発表を行いました！

第53回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会が2023年8月26・27日に新潟県朱鷺メッセにて開催されました。6名もの臨床研修薬剤師や多くの若手薬剤師が、臨床の場で経験した症例について報告してきました。様々な角度からの質問に対して自らの考察をもって議論し、患者さんから学ぶ医療を実践してきました！



Topics

海外留学生受入れ再開！

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、2023年5月から海外留学生の



受入れを再開しました。



今年度前半は、フロリダ大学（アメリカ）、マハサラカム大学（タ

イ）、オルバニー大学（アメリカ）の薬学生たちが8つの附属病院に割り振られ、病院見学



実習を行いました。日本の病院薬剤師の業務、手術などを見学・体



験することにより、自国との違いや各附属病院での特徴的な治療など、おおいに興味を持っていただきました。後半は、リヨン大学（フランス）、ワシントン大学（アメリカ）からの留学生がやってきます。

くすりのコラム ～バイオシミラー～

バイオ医薬品とは、遺伝子組換え技術や細胞培養技術を用いて製したタンパク質を有効成分とする医薬品です。

一般的な医薬品に比べると大規模な設備が必要なことや、原材料が高価なことから、非常に高額なおくすりです。バイオ医薬品にも後発医薬品の考え方と同じようなものがあります。それが、バイオ後続品：バイオシミラーと呼ばれるものです。

バイオシミラーは、様々な臨床試験を行って承認され、先行バイオ医薬品と比較しても、有効性・安全性に差異はないといわれています。

留意すべきは、バイオシミラーは先行バイオ医薬品の約70%の薬価に抑えられているということです。このことにより、薬代が削減でき、結果的に保険料や税金の負担が減ります。バイオシミラーの普及により、医療財政の負担軽減が期待されるのです。

積極的なバイオシミラーの推奨、よろしく願います(‘◇’)ゞ。

編集後記

大変遅ればせながら、統括薬剤部news第3号の発行となりました。気づくといつの間にかコロナも5類感染症に移行して、3年半の間成りを潜めていた世の中の日常も回復しつつあり、徐々に活気を取り戻してまいりました。統括薬剤部も徐々にオンライン会議から対面の会議やセミナーを増やし、顔を合わせて患者さんの治療について議論する、そんなコミュニケーションの大切さを改めて実感している次第です。やはりオンラインだと言いたいことも言いづらい、ピンとこないですね。また、久しぶりの海外留学生の対応で皆緊張していましたが、日本を留学先に選んでくれた留学生達の思いに応えるべく、何とか興味深い病院実習になるよう知恵を出し合いました。二次元ではなく三次元での人と人とのつながり、大事なたんだなあと思われられる今日この頃です。

発行責任者：田中 克巳
編集責任者：柏原 由佳、内倉 健